



# 丹後地域 リハビリ通信

第8号

～うさぎのブランコ～

編集/発行

丹後地域リハビリテーション支援センター  
 (財団法人 丹後中央病院リハビリテーション科内)  
 〒627-8555 京丹後市峰山町杉谷158-1  
 TEL 0772-62-8301 FAX 0772-62-8302  
 e-mail tango-rehabili-shien@tangohp.com  
 http://www.tangohp.com/tangoshien.html

## 顔が思い浮かぶネットワークを

当病院が地域リハビリテーション支援センターの指定を受け3カ月が経過しました。

”まずは顔を知ってもらうことから”との思いで、活動しています。

事例検討会や研修会を実施しましたのでご報告します。

### 平成23年度 第1回 事例検討会開催の報告

日 時 : 平成23年10月21日(金曜日)

事 例 報 告 : 「脳出血後遺症患者に対する社会復帰支援について  
 ～30代男性退院から就労支援まで～」

報 告 者 : 公益財団法人丹後中央病院 理学療法士 坂根 孝司 氏  
 公益財団法人丹後中央病院 医療ソーシャルワーカー 藤居 一洋 氏  
 障害者生活支援センター「かもめ」 相談支援専門員 寺田 悟 氏

シンポジウム: 「丹後地域の障害者支援の現状と課題について」

シンポジスト: 障害者就業・生活支援センター「こまち」 主任就業支援相談員 折戸 正明 氏  
 障害者相談支援事業「結」 相談支援専門員 故金 佳代子 氏

介護職員、福祉分野の相談員、医療、行政など様々な分野から44名の方に参加いただきました。

事例については病院のセラピストとMSW、障害者生活支援センターの立場から報告頂き、加えて、シンポジウムの中で障害者就業・生活支援センターと障害者相談支援事業者より事業概要の紹介をして頂きました参加者から、「それぞれの職種の役割や連携の様子がわかりやすかった」「就労サービスについて大変参考になった」「障害者の方を支援する事業者の詳しい業務内容を聞かせて頂くことは初めてだったので勉強になった」などの声を頂きました。



障害者生活支援センター「かもめ」寺田悟さんの報告



シンポジウムのパネリスト

## 平成23年度 実技研修会の報告

日 時 : 平成23年11月4日(金曜日)

講演・実技 : 「流す排泄・流されない排泄ケアを考える  
～排泄から生活を見つめて～」

講 師 : 京丹後市やさか老人保健施設「ふくじゅ」  
作業療法士 井上 和泉 氏  
作業療法士 麻生 雄太郎 氏

講師以外にもふくじゅスタッフがインストラクターとなり円滑な実習が導入された研修となりました。

アンケート結果でも「(オムツ体験で)患者の不快感を感じられた」

「排泄だけでなくトランスファーも学べて良かった」

「久々に初心を忘れてはいけないと思った」等、と好評でした。

講義や実技をいただいたふくじゅの委員会活動や研修会などについても紹介いただき、実技だけでなく業務改善の視点を触れていただいたことも有益でした。

<講演・実技「流す排泄・流されない排泄ケア ～ふくじゅスタッフで進行～」>



講演・実技の風景



グループ毎にスタッフと共に学ぶ



皆さんのオムツのあて方は、相手にあっていませんよ。  
まずは、ギャザーをソケット部に添わせ、ヒップラインに沿って下から上にあげ、骨盤にそってテープをクロスに留めましょうこれだけで、動き易くなり、同じオムツを使っても、つけ心地が違います!



講師 井上さんの実技風景



水に含ませたオムツを着けあってみる



移乗と排泄のケア そのコツを実習



介護用品展示

## オムツフィッターとは?

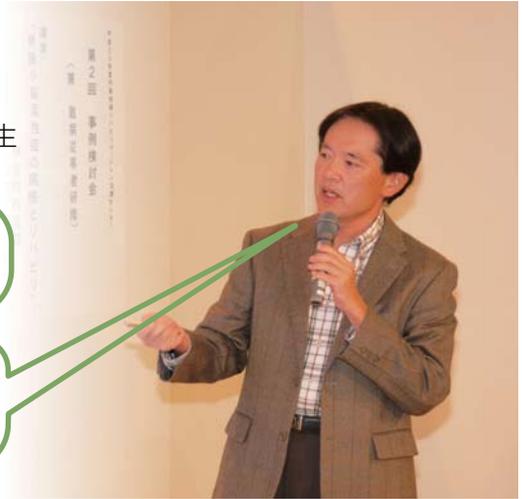
株式会社 排泄総合研究所が2004年9月から始めた認定資格です。ふくじゅでは12名のオムツフィッターが活躍されています。

排泄に何らかの支障が生じたとき、適切な提案や情報があればご本人や介護者により快適な生活を送ることができます。しかし現状はどこへ行き、誰に相談すればよいかわからないのではないのでしょうか? オムツフィッターとは排泄の困りごとに対して、おむつを含む排泄用具はもとより、医療や住環境、食事など幅広い視点からアドバイスできる人です。

## 平成23年 第2回事例検討会開催の報告

医療職や介護職を中心に**44**名の方に参加頂き、脊髄小脳変性症の病態や診療・リハビリについて学びました。

日 時 : 平成23年12月12日(月曜日)  
 講 演 : 「脊髄小脳変性症の病態・診断とリハビリ」  
 講 師 : 京丹後市立弥栄病院 神経内科 竹村 学 先生



質疑応答より

Q: 「好発年齢や進行度合いは?」

A: 好発年齢は50歳前後、進行はパーキンソン病より早く発病後6~7年で歩行不可となる

事例報告 : 「脊髄小脳変性症の患者さんの在宅支援  
 ~入退院を繰り返し、進行が著しい患者をチームで支えるために~」

報告者 : 丹後園居宅介護支援事業所 ケアマネージャー 上田 裕子 氏



### 事例報告をうけグループワークを行いました

- ADL低下や進行していく状況を受け入れにくく症状の理解が難しい
- 機能面だけでなくQOLを高める上でもリハビリは必要
- コミュニケーションが取りにくい本人の介護者のやりがいはどうだろうか?  
 夫の不安を聞いてあげられる人がいれば良かったのではないかと

などの意見が出されました。

3/7  
月

今年もやります!!

## お気軽サミットin丹後

開催: H24年3月7日(水)  
 場所: 野田川わーくばる

今年のお気軽サミットであなたの職場の取組を報告してみませんか? まずは、地域リハセンまでご連絡下さい。  
 詳細は後日

お気軽サミットは「お気軽」がキーワードの実践交流会です

## 施設たずね歩き 丹後地域の施設を順に紹介します

### 今回は「よさのうみ福祉会、障害者就業・生活支援センターこまち」をご紹介します。

「働きたい」、「働いているが職場や生活の面で困っている…」など、障害者の方の就労やそれにとまなう生活に関する相談に応じます。

#### 基礎訓練

仕事の経験のない方や、訓練を必要とされる方は、関係機関や提携施設で就職や自立に向けた訓練をおこないます。

#### 職場開拓

職場での仕事に不安のある方は、必要なサポートをいたします。また、実際に職場での仕事を体験したり、訓練していきます。

#### 生活支援

安心して働き続けられるように、職場訪問をおこない、職場での悩みなど相談に応じます。

#### 職業準備訓練

ハローワークや他の関係機関と連携し、あなたに合った職場を一緒に探していきます。

#### 就職後の定着支援

働くため、働き続けるために、関係機関と連携しながら各種福祉サービスの活用など、必要な生活支援をおこない、日常生活における課題の解決を支援していきます。



#### 事業所名

(福)よさのうみ福祉会  
障害者就業生活支援センターこまち

#### 住所

京都府京丹后市大宮町周枳1-1

#### 連絡先

電話 0772-68-0005  
FAX 0772-68-0017



## 今後の地域リハビリ事業予定

### ●第3回 事例検討会

日時:平成24年2月23日(木)  
内容:高齢者のうつとリハビリ  
場所:大宮ふれあい工房

### ●第4回 事例検討会 (伊根町のリハビリを考える会)

今回は伊根町関係者のみを対象としています

### ●お気軽サミットin丹後

日時:平成24年3月7日(水)  
場所:野田川わーくぱる

※詳しくはHPまたは案内で

URL <http://www.tangohp.com/tangoshien.html>

## こまっていることはありませんか?

地域リハ支援センターでは、従事者支援を目的に、訪問相談を行っています。何でも気軽にご相談下さい。

対象:事業所の介護支援専門員、訪問看護師などのスタッフ  
受付:丹後地域リハビリテーション支援センター

TEL:0772-62-8301 FAX:0772-62-8302  
e-mail [tango-rehabili-shien@tangohp.com](mailto:tango-rehabili-shien@tangohp.com)

